

各 位

武雄・杵島地区農業指導連絡協議会
杵島農業振興センター

「稲作情報（第4号）」について（送付）

このことについて、下記のとおり「稲作情報（第4号）」を送付しますので、業務の参考にしてください。

1. 気象概況

月	半旬	平均気温			最高気温			最低気温			降水量			日照時間		
		平年 (°C)	R7 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R7 (°C)	平年差 (°C)	平年 (°C)	R7 (°C)	平年差 (°C)	平年 (mm)	R7 (mm)	平年比 (%)	平年 (hr)	R7 (hr)	平年比 (%)
6月	1	21.6	20.6	-1.0	27.6	26.5	-1.1	16.7	15.6	-1.1	21.8	16.5	75.7	25.9	41.9	161.8
	2	22.3	21.9	-0.4	27.8	25.5	-2.3	17.8	18.8	1.0	28.6	155.5	543.7	23.0	6.5	28.3
	3	22.8	23.6	0.8	27.9	26.4	-1.5	18.7	21.1	2.4	40.9	63.0	154.0	21.2	1.5	7.1
	4	23.3		-23.3	27.9		-27.9	19.7		-19.7	58.6		0.0	18.8		0.0
	5	23.9		-23.9	28.1		-28.1	20.6		-20.6	74.3		0.0	15.4		0.0
	6	24.6		-24.6	28.4		-28.4	21.6		-21.6	84.4		0.0	14.1		0.0

6月3半旬の平均気温は平年より0.8℃高く、最高気温は1.5℃低く、最低気温は2.4℃高くなった。日照時間は平年比7.1%と少ない。降雨量は平年比154%と多くなった。

2. 水稻情報田の生育状況（調査日：6月18日）

項目 品種	年 次	草 丈 cm	茎数 本/m ²	主 稈 葉 数L	葉色 SPAD	概 要
コシヒカリ	本 年 値	71.5	629	12.8	38.0	・草丈は平年比100で平年並。茎数は平年比110で平年より多い。 ・主稈葉数は、平年より0.3葉少ない。 ・葉色は平年より濃い。 ・現在、止め葉抽出中～抽出完了 ・葉耳間長2～3cm
	前 年 値	71.1	572	12.5	32.9	
	平 年 値	71.5	570	13.1	32.1	
	平年比（差）	100	110	-0.3	5.9	

※ 平年値は、H27～R6年度の平均値、耕種概要は稲作情報N01参照

3. 今後の管理（極早生コシヒカリ）

(1) 水管理

- 「コシヒカリ」は6月18日現在、穂ばらみ期（葉耳間長2～3cm、出穂前7日頃）をむかえている。
（平年の出穂期は6月28日）
幼穂形成期から出穂期にかけては要水量が増加する時期である。穂ばらみ期から穂前期は浅水管理とする。
（湛水状態を保ち、潤土管理）

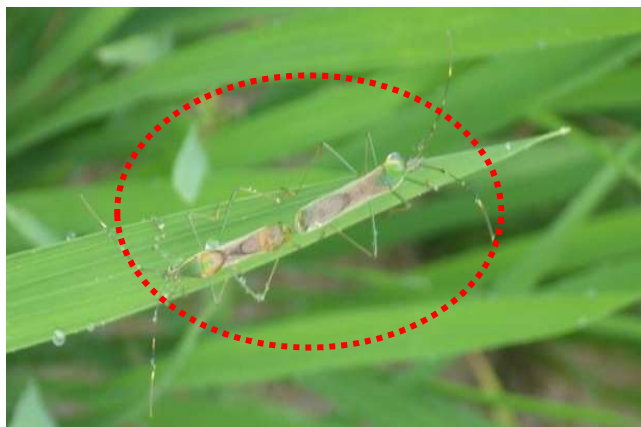
(2) 病虫害防除

①葉いもち病

- ・補植用の『置き苗』は、葉いもち病の発生源になるため、すぐに除去する。

②斑点米カメムシ

- ・防除は、適期である乳熟期に行う。



クモヘリカメムシ



ホソハリカメムシ

③紋枯病

- ・高温多湿条件で発生しやすいので、発生に注意する。

4. 今後の管理（普通期水稻）

《共通》

○麦わらすき込み及び麦収穫前に打ち込みを行った圃場では、ガスのわきが予想されるので、初期生育を促進するため、移植前日までに窒素成分で0.5g～1g/箱の弁当肥を施用する。

○スクミリンゴガイの適切な防除を行う

- ・水深1cm程度の浅水管理を行う。
- ・メタアルデヒド剤等の登録薬剤を処理する。

※移植時にスクミリンゴガイの被害がでる前に散布する。

※散布後7日間は、落水やかけ流しをしないこと。

(1)「夢しずく」

- ・「夢しずく」は、早いところで6月14日頃（平坦上部）から始まっている。。
 今後は、移植時期に応じた水管理を徹底する。また、除草剤は、薬剤の使用基準を守り、処理後7日経過したら浅水管理に移行する。
- ・麦わらすき込み及び麦収穫前に打ち込みを行った圃場でガスの発生が著しい場合は、除草剤処理から7日経過したら、「ガス抜き」のために半日～1日程度の落水を行う。
 特に、足を踏み入れずに自然に気泡が出るようであれば直ちに落水する。（表1参照）

《表1 ガス（湧き）発生程度及び対策》

湧きの程度	様相とガス程度水稻への影響	水稻への影響	ガス対策
稀	足を踏み込んでも気泡なし	なし	必要なし
少	足を踏み込むとわずかに気泡が見られる	なし	必要なし
中	足を踏み込むと気泡の発生が多い	根の活力低下	落水後に用水更新
多	足を踏み込むと盛んに気泡を発生	根張り不良	落水後に用水更新を繰り返し
甚	晴天時自然に気泡発生する（ぱちぱちと音が聞こえる。）水田歩くと著しく気泡発生。	根伸長阻害、黄化	中耕と用水更新を繰り返し 回復後には、間断灌水 （本格的夜干）

(2)「さがびより」・「ヒノヒカリ」・「ひなたまる」

- ・水管理等は「夢しずく」を参照する。

(3) 「ヒヨクモチ」

- ・「ヒヨクモチ」は6月25日以降に移植する。

